

都市再生整備計画 事後評価シート
三条地区

平成27年3月

新潟県三条市

様式2-1 評価結果のまとめ

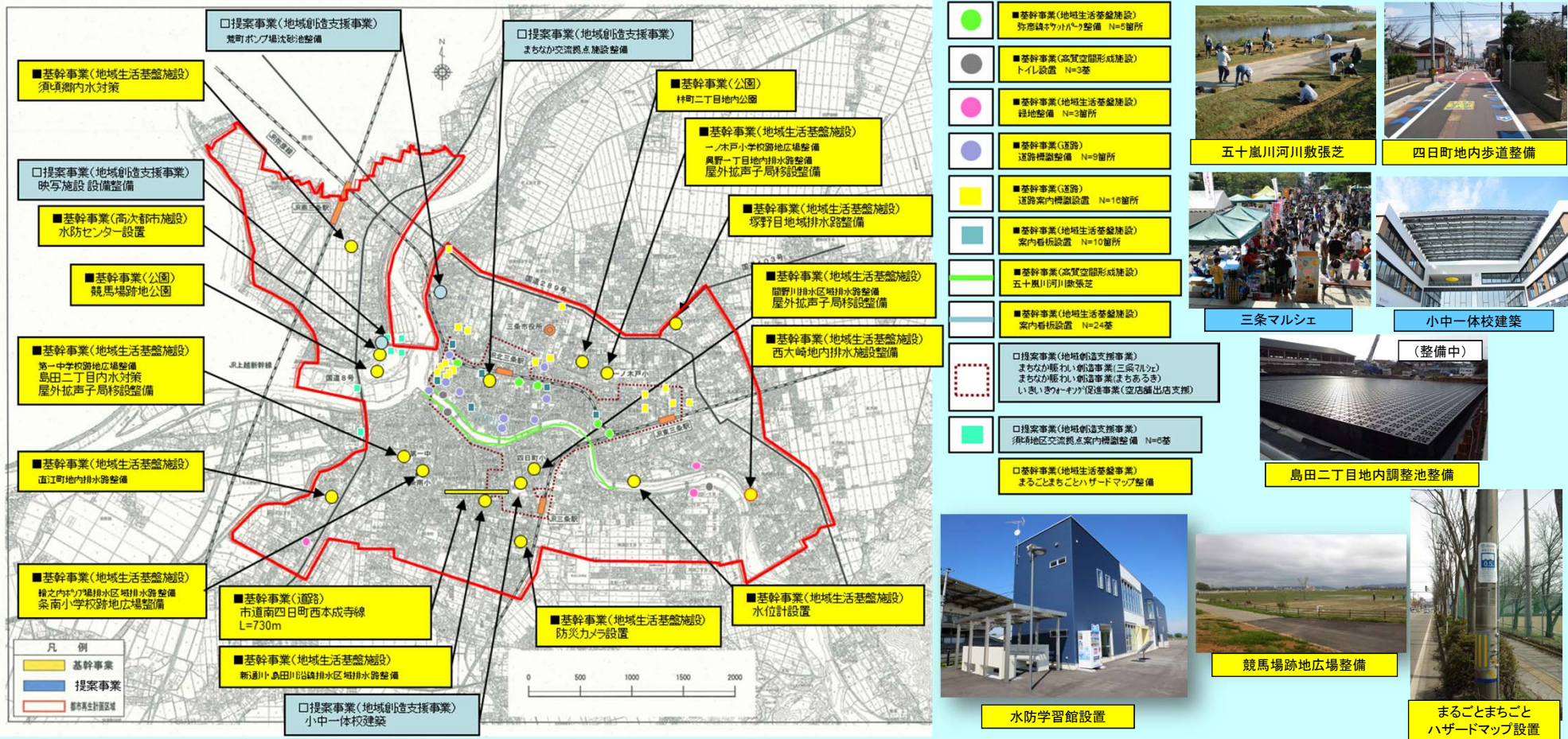
都道府県名	新潟県	市町村名	三条市	地区名	三条地区		面積	1,340ha	
交付期間	平成22年度～平成26年度	事後評価実施時期	平成26年度	交付対象事業費	4429.3	国費率	0.4		
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	事業名 道路事業(市道南四日町西本成寺線歩道整備)、公園事業(街区公園2箇所)、地域生活基盤施設(緑地、駐車場、情報板2箇所、地域防災施設6施設)、高質空間形成施設(植栽2箇所、照明施設、トイレ設置)、高次都市施設(地域交流センター)						
		提案事業	事業活用調査(事業モニタリング及び事業効果分析調査委託)						
	当初計画から削除した事業	基幹事業	【地域生活基盤施設】旧下水道区域排水路整備	他事業により実施したため削除するもの。		影響なし			
			【地域生活基盤施設】五十嵐川河川敷駐車場整備	五十嵐川災害復旧事業との調整により、事業を削除するもの。		影響なし			
			【高質空間形成施設】五十嵐川法面緑化	五十嵐川災害復旧事業との調整により、事業を削除するもの。		影響なし			
			【高質空間形成施設】景観照明設置	防犯灯の整備により照明の必要がなくなった為、削除するもの。		影響なし			
		提案事業	【事業活用調査】事業モニタリング及び事業効果分析調査委託	直営で事業を実施するため。		影響なし			
	新たに追加した事業	基幹事業	【道路】道路案内標識整備(行き先看板)	中心市街地の回遊性の向上のため事業を追加するもの。		影響なし			
			【道路】道路案内標識整備(ゾーン30)	中心市街地における歩行者の安全を確保するため、30km/h速度規制を通告する為追加するもの。		影響なし			
			【地域生活基盤施設】直江町四丁目地内緑地整備	公共施設跡地を有効活用し、市民の交流、憩いの場として事業を追加するもの。		影響なし			
			【地域生活基盤施設】三竹一丁目地内緑地整備	高質空間形成施設で整備予定だったトイレを拡充し、緑地として整備することにより市民の交流、憩いの場とするもの。		影響なし			
			【地域生活基盤施設】曲淵二丁目地内緑地整備	まちなかの広場を有効活用し、市民の交流、憩いの場として事業を追加するもの。		影響なし			
			【地域生活基盤施設】新通川・島田川沿線排水区域排水路整備	新通川・島田川沿線排水区域の浸水被害軽減のために事業を追加するもの。		浸水被害が予想される区域の面積の追加。			
			【地域生活基盤施設】興野一丁目地内排水路整備	興野一丁目地内の浸水被害軽減のために事業を追加するもの。		浸水被害が予想される区域の面積の追加。			
			【地域生活基盤施設】島田二丁目内水対策	島田二丁目地内の浸水被害軽減のために事業を追加するもの。		影響なし			
			【地域生活基盤施設】須頃郷内水対策	須頃郷地区の浸水被害軽減のための事業を追加するもの。		浸水被害が予想される区域の面積の追加。			
			【地域生活基盤施設】一ノ木戸小学校跡地広場整備	避難空間整備及び市民の交流、憩いの場として事業を追加するもの。		影響なし			
			【地域生活基盤施設】条南小学校跡地広場整備	避難空間整備及び市民の交流、憩いの場として事業を追加するもの。		影響なし			
			【地域生活基盤施設】第一中学校跡地広場整備	避難空間整備及び市民の交流、憩いの場として事業を追加するもの。		影響なし			
			【地域生活基盤施設】旧一ノ木戸小学校拡声子局移設	市民への速やかな情報伝達のため、事業を追加するもの。		影響なし			
【地域生活基盤施設】四日町小学校拡声子局移設整備			市民への速やかな情報伝達のため、事業を追加するもの。		影響なし				
【地域生活基盤施設】防災カメラの設置(南四日町一)			迅速な防災対応及び市民への速やかな情報伝達のため、事業を追加するもの。		影響なし				
【地域生活基盤施設】西大崎地内排水施設整備事業	西大崎地内下流域の浸水被害軽減のために事業を追加するもの。		影響なし						
【地域創造支援事業】荒町ポンプ場沈砂池整備	施設の長寿命化を図り、中心市街地の排水処理を確かなものとするための事業追加。		影響なし						
【地域創造支援事業】まちなかにぎわい創造事業(三条マルシェ)	内閣府のスマートウェルネスシティ総合特区に認定されたのを受け、中心市街地において人が集まり、楽しむ空間を創造するもの。		影響なし						

	提案事業	【地域創造支援事業】 まちなかにぎわい創造事業(まちあるき)	内閣府のスマートウエルネスシティ総合特区に認定されたのを受け、小路を利用したまちあるきをまちづくりにつなげるもの。		影響なし							
		【地域創造支援事業】 いきいきウォーキング促進事業	内閣府のスマートウエルネスシティ総合特区に認定されたのを受け、地域の賑わい再生の拠点を空き店舗を利用して整備するもの。		影響なし							
		【地域創造支援事業】 須頃地区案内看板整備	交流拠点への誘導を向上させるため追加するもの。		影響なし							
		【地域創造支援事業】 映画施設設備整備	交流拠点と一体的に防災啓発を中心とした映像設備整備を追加するもの。		影響なし							
		【地域創造支援事業】 小中一体校整備事業	公共・公益サービスの向上及び施設の集約化を図るために追加するもの。		影響なし							
		【地域創造支援事業】 まちなか交流拠点施設整備	中心市街地の回遊性向上の取組を強化・補完するため追加するもの。		影響なし							
交付期間の変更	当初	平成22年度～平成26年度	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		-							
	変更	-										
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		従前値	目標値	数値	目標	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期			
		単位	基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度					
	指標1	中心市街地の自転車・歩行者数	人	2,583	H21	2,600	H26	3,105	○	あり なし	五十嵐川の復旧で生まれた河川敷張芝の空間整備や市道南四日町西本成寺線歩道整備をはじめ、公園、緑地整備により、市街地における回遊性が向上し、中心市街地の自転車・歩行者数が増加した。	-
	指標2	市街地における浸水予想区域面積	ha	75.3	H21	10.6	H26	26.0	△	あり なし	本指標の数値目標において、浸水面積の従前値は最大浸水深が膝上程度の浸水、目標値はくぼし程度の範囲を想定して設定していた。これに対し、事業の実施にあたっては、公共下水道計画の降雨強度(41mm/h)を用いてシミュレーション(流出解析)を行い、基本的に車両通行に支障が出ないように浸水を低減することを目標に施設を計画した。 この数値目標設定時の想定と解析結果に差異が生じたことと併せて、事業期間中に整備できなかった施設があったために未達成面積が発生した。	平成28年4月
指標3	広場等利用者数	人	11,000	H21	16,000	H26	24,352	○	あり なし	競馬場跡地広場整備により、6月に開かれる毎年恒例の三条風合戦は、これまでの三条・燕総合グラウンドから三条防災ステーションで開催され、多くの来場者があった。 また隣接する水防学習館の設置に加えて須頃地区案内看板整備などの事業化について、提案事業を活用することにより、一体的な整備による相乗効果で利用者数が大幅に増加し、指標の達成につながった。	-	
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		従前値	目標値	数値	目標	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期			
		単位	基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度					
	その他の数値指標1	昭栄通り歩行者・自転車数	人	146	H22					中心市街地周辺の回遊性は向上しているものの、必ずしも地域全体で歩行者・自転車数が増加しているということではない。	-	
	その他の数値指標2	JR北三条駅の平均乗車数	人/日	418	H21					中心市街地周辺の回遊性は向上しているものの、そこへアクセスする人口は概ね横這いである。	-	
その他の数値指標3	三条マルシェの平均来場者数	人/回	8,500	H22					継続的な三条マルシェの開催に加え、まちなかにぎわい創造事業やいきいきウォーキング促進事業との相乗効果により、来場者が着実に増加している。	-		
4)定性的な効果発現状況	<ul style="list-style-type: none"> 市道南四日町西本成寺線歩道整備により、自動車の流れがスムーズになるとともに、歩行者の安全が確保された。また北三条駅周辺の中心市街地においてもゾーン30に関連する標識等の設置により、歩行者の安全が確保された。 まちあるき事業により、まちが持つ可能性の掘り起こしに繋がりが、参加者に対しそれを示すことで当市のPRに大いに寄与しただけでなく、事業運営側も可能性に気付くことで、まちづくりの新たなマンパワーとして活躍するようになった。 											

5) 実施過程の評価	実施内容		実施状況		今後の対応方針等	
	モニタリング		都市再生整備計画に記載し、実施できた			
	モニタリング	なし	都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した			-
	住民参加プロセス	(a) 五十嵐川法面のシバザクラによる緑化 (b) 五十嵐川河川敷の張芝 (c) 弥彦線ポケットパーク整備 (d) 内水対策事業 (e) まちあるき事業 (f) スマートウェルネス三条推進計画	都市再生整備計画に記載し、実施できた	●	(a) シバザクラによる緑化作業を行った地元商店街が主体となり、堤防の草刈りなどの活動も従前から実施されている。 (b) 河川工事が完了した箇所について、順次事業を実施していく。 (c) 予定していた全箇所の整備が完了したため、他の箇所と同様の手法による整備を検討する。 (d) 市主体での事業は完了したが、今後は多面的機能支払交付金を活用し、地元施工での事業の推進を図る。 (e) 今後も同事業を継続して行う。 (f) 今後もワークショップを開催予定。	
	持続的なまちづくり体制の構築	・三条まんなかプロジェクトの設立	都市再生整備計画に記載し、実施できた			
			都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した	●		・平成27年度からは主に中心市街地で行われる社会貢献を目的とした多様なコミュニティの形成を支援することにその活動を移行する。
			都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった			

様式2-2 地区の概要

三糸地区(新潟県三糸市) 都市再生整備計画事業の成果概要							
まちづくりの目標		目標を定量化する指標		従前値	目標値	評価値	
大目標 「平成16年7.13水害からの創造的復興」		中心市街地の自転車・歩行者数		単位：人	2,583 H21	2,600 H26	3,105 H26
目標1 中心市街地における回遊性の向上及び公共サービス機能の維持		市街地における浸水予想区域面積		単位：ha	75.3 H21	10.6 H26	26.0 H26
目標2 市街地における浸水被害の軽減		広場等利用者数		単位：人	11,000 H21	16,000 H26	24,352 H26
目標3 交流拠点の強化							



まちの課題の変化

- ・課題1 中心市街地における個性と賑わいのある生活空間創造 → 三条マルシェが集客と空き店舗への新規出店に一定の効果を示し、それらにより新たなコミュニティが形成された。今後は、更なるまちの賑わい、核となる公共施設の整備が必要である。また市中心部は高齢化が顕著で居住人口が減少し、既存の地縁コミュニティだけでは生活が維持できなくなりつつある。
- ・課題2 緊急的な浸水被害の軽減 → 一部浸水被害の軽減を図られたが、今後は事業期間中に整備が出来なかった施設の早期完成を図り、豪雨による浸水被害の軽減を図る。
- ・課題3 競馬場跡地における交流拠点としての積極的な利用と強化 → 風合戦などによるイベント開催において従前に比べ利用者が増えたことで交流人口が増加し、地域の活性化が図られた。

今後のまちづくりの方策 (改善策を含む)

- ・長寿社会にあった環境整備 → 日常的に出掛けたいような社交の場を創出したり、景観資源を活用した歩きたい空間づくりと合わせ、道路を歩行者優先の価値観へと変容させる取組を進める。
- ・出生率を向上させる子育て支援等の実施 → 人口密度を維持していくために若年世代の住みやすい環境の創出を図るため、老朽化した保育所施設の統合及び新設等を行い、多様な保育ニーズへの対応を強化する。
- ・災害に強い安全・安心な生活環境の整備 → 五十嵐川南側地区、須頃郷地区などで、さらなる内水対策として排水路整備を図り、豪雨による浸水被害の軽減を図る。

都市再生整備計画 事後評価シート (添付書類)

(1) 成果の評価

- 添付様式1-① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無
- 添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(完成状況)
- 添付様式2-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況
- 添付様式2-② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)により計測される効果発現の計測
- 添付様式2-参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

(2) 実施過程の評価

- 添付様式3-① モニタリングの実施状況
- 添付様式3-② 住民参加プロセスの実施状況
- 添付様式3-③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

(3) 効果発現要因の整理

- 添付様式4-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制
- 添付様式4-② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理
- 添付様式4-③ 数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理

(4) 今後のまちづくり方策の作成

- 添付様式5-① 今後のまちづくり方策にかかる検討体制
- 添付様式5-② まちの課題の変化
- 添付様式5-③ 今後のまちづくり方策
- 添付様式5-参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見
- 添付様式5-④ 目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画
- 添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方
- 添付様式6-参考記述 今後、都市再生整備計画事業の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称(当該地区の次期計画も含む)

(5) 事後評価原案の公表

- 添付様式7 事後評価原案の公表

(6) 評価委員会の審議

- 添付様式8 評価委員会の審議

(7) 有識者からの意見聴取

- 添付様式9 有識者からの意見聴取

(1) 成果の評価

添付様式1-① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無

	変更		変更前	変更後	変更理由
	あり	なし			
A. まちづくりの目標		●			
B. 目標を定量化する指標		●			
C. 目標値	●		①市街地における浸水予想区域面積を28.1haから7.5haへ減少させる。 ②市街地における浸水予想区域面積を39.0haから10.6haへ減少させる。 ③市街地における浸水予想区域面積を51.8haから10.6haへ減少させる。	①市街地における浸水予想区域面積を39.0haから10.6haへ減少させる。 ②市街地における浸水予想区域面積を51.8haから10.6haへ減少させる。 ③市街地における浸水予想区域面積を75.3haから10.6haへ減少させる。	①平成22年度に地域生活基盤施設(新通川・島田川沿線排水区域排水路整備事業)の追加に伴い、市街地における浸水予想区域面積を変更する。 ②平成23年度に地域生活基盤施設(興野一丁目地内排水路整備事業)の追加に伴い、市街地における浸水予想区域面積を変更する。 ③平成24年度に地域生活基盤施設(須頃郷内水対策事業)の追加に伴い、市街地における浸水予想区域面積を変更する。
D. その他(計画区域)	●		計画区域: 1,092ha	計画区域: 1,340ha	平成24年度に地域生活基盤施設(須頃郷内水対策事業)の追加により計画面積を拡大するため、計画区域を1,092haから1,340haにする。

添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(事業の追加・削除を含む)

基幹事業									
事業	事業箇所名	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
道路	市道南四日町西本成寺線歩道整備事業	77.0	L=720m,W=2.0m	139.5	L=730m,W=2.0m	電柱移設費及び道路側溝改良費の増加によるもの。	影響なし	●	
	道路案内標識整備(行き先看板)	-	なし	4.6	N=16箇所	平成24年度に計画変更して追加。中心市街地の回遊性の向上のため事業を追加するもの。	影響なし	●	
	道路案内標識整備(ゾーン30)	-	なし	3.0	N=6箇所	平成24年度に計画変更して追加。中心市街地における歩行者の安全を確保するため、30km/h速度規制を通告する為に追加するもの。	影響なし	●	
公園	林町二丁目地内公園整備	13.0	A=1,200㎡	20.2	A=1,200㎡	トイレの設置を追加するための事業費増。	影響なし	●	
	競馬場跡地公園整備	550.0	A=120,000㎡	48.5	A=60,000㎡	河川管理者との協議を踏まえた実施設計に伴い、事業費を変更するもの。	影響なし	●	
地域生活基盤施設	間野川排水区域排水路整備	164.0	排水路改良 L=720m	352.2	排水路改良 L=1,637m 調整池設置2箇所	シミュレーションを踏まえた実施設計に伴い、事業費を変更するもの。	影響なし		●
	輪之内ポンプ場排水区域排水路整備	205.0	排水路改良 L=860m ポンプ場改善 N=1箇所 調整池設置 N=1箇所	379.9	排水路改良 L=521m ポンプ場改善 N=1箇所 調整池設置 N=1箇所	シミュレーションを踏まえた実施設計に伴い、事業費を変更するもの。	影響なし		●
	塚野目地域排水路整備	45.0	横断ボックス改良 L=12m	104.5	横断ボックス改良 L=31m	実施設計による工法変更により事業費が増加するもの。	影響なし		●
	旧下水道区域排水路整備	5.0	取付管改良 N=3箇所	-	なし	平成24年度に計画変更して削除。他事業により実施したため削除するもの。	-	-	-
	直江町地内排水路整備	118.0	調整池設置1箇所	85.9	調整池設置1箇所	実施設計に伴い、事業費を変更するもの。	影響なし		●
	直江町四丁目地内緑地整備	-	なし	12.5	A=2,497㎡	平成23年度に計画変更して追加。緑地整備として新たに計画するもの。	影響なし	●	
	三竹一丁目地内緑地整備	-	なし	22.1	A=434㎡	平成23年度に計画変更して追加。三竹一丁目地内について、トイレ周辺も含めた緑地整備として拡充するもの。	影響なし	●	
	曲淵二丁目地内緑地整備	-	なし	3.7	A=279㎡	平成23年度に計画変更して追加。緑地整備として新たに計画するもの。	影響なし	●	
	五十嵐川河川敷駐車場整備	4.0	500㎡/箇所 N=8箇所	-	なし	平成26年度に計画変更して削除。五十嵐川災害復旧事業との調整により、事業を削除するもの。	-	-	-
	弥彦線ポケットパーク整備	8.0	N=5箇所	5.8	N=5箇所	事業実施に伴う事業費の変更	影響なし	●	
	案内看板設置	12.0	N=200箇所	2.4	N=41箇所	設置場所の見込みが立たないため事業費を減とするもの。	影響なし	●	
	まるごとまちごとハザードマップ整備	12.0	N=1,200箇所	9.2	N=903箇所	事業実施に伴う事業費の変更	影響なし	●	
	水位計設置	5.0	N=1箇所	4.2	N=1箇所	事業実施に伴う事業費の変更	影響なし	●	

	新通川・島田川沿線排水区域排水路整備	-	なし	30.1	設計一式	平成22年度に計画変更して追加。新通川・島田川沿線排水区域排水路整備の追加に伴うもの。	新通川・島田川沿線排水区域の排水路整備事業の追加に伴い、「市街地における浸水予想面積」の従前値等を見直す。変更前28.1ha→7.5ha、変更後39.0ha→10.6ha	●	
	興野一丁目地内排水路整備	-	なし	254.5	調整池設置1箇所	平成23年度に計画変更して追加。興野一丁目地内の排水路整備の追加に伴うもの。	興野(こうや)一丁目地内の排水路整備事業の追加に伴い、「市街地における浸水予想面積」の従前値を見直す。変更前39.0ha→10.6ha、変更後51.8ha→10.6ha	●	
	島田二丁目内水対策	-	なし	181.9	調整池設置1箇所	平成24年度に計画変更して追加。島田二丁目地内の排水施設整備を追加するもの。	影響なし		●
	須頃郷内水対策	-	なし	434.2	調整池設置1箇所	平成24年度に計画変更して追加。須頃郷地区の浸水被害軽減のため事業を追加するもの。	須頃郷の排水路整備事業の追加に伴い、「市街地における浸水予想面積」の従前値を見直す。変更前51.8ha→10.6ha、変更後75.3ha→10.6ha		●
	一ノ木戸小学校跡地広場整備	-	なし	237.8	A=13,000㎡	平成24年度に計画変更して追加。避難空間整備として広場整備を追加するもの。	影響なし		●
	条南小学校跡地広場整備	-	なし	254.2	A=12,000㎡	平成24年度に計画変更して追加。避難空間整備として広場整備を追加するもの。	影響なし		●
	第一中学校跡地広場整備	-	なし	191.1	A=5,000㎡	平成24年度に計画変更して追加。避難空間整備として広場整備を追加するもの。	影響なし		●
	旧一ノ木戸小学校拡声子局移設	-	なし	1.3	N=1基	平成24年度に計画変更して追加。情報通信施設整備として拡声子局移設整備を追加するもの。	影響なし	●	
	四日町小学校拡声子局移設整備	-	なし	5.2	N=1期	平成24年度に計画変更して追加。情報通信施設整備として拡声子局移設整備を追加するもの。	影響なし	●	
	防災カメラの設置(南四日町一)	-	なし	0.8	情報通信施設 防災カメラ設置1箇所	平成24年度に計画変更して追加。情報通信施設整備として防災カメラの設置(南四日町一)を追加するもの。	影響なし	●	
	西大崎地内排水施設整備事業	-	なし	294.4	ポンプ設置N=1基	平成23年度に計画変更して追加。市内の浸水被害軽減のため事業を追加するもの	影響なし		●
高質空間形成施設	五十嵐川法面緑化	22.0	シバザクラ L=2,000m	-	なし	五十嵐川災害復旧事業との調整により事業を削除するもの。	-	-	-
	五十嵐川河川敷張芝	31.0	高麗芝 A=17,000㎡	6.9	高麗芝 A=2,500㎡	五十嵐川災害復旧事業との調整により事業を変更するもの。	影響なし		●
	景観照明設置	54.0	照明灯 N=54箇所	-	なし	防犯灯の整備により照明の必要がなくなったため事業を削除するもの。	-	-	-
	トイレ設置	55.0	トイレ N=5箇所	21.2	トイレ N=3箇所	三竹一丁目地内、曲瀬二丁目地内についてトイレ周辺を含めた緑地整備して拡充し、地域生活基盤施設(緑地)に移行するもの。	影響なし	●	
高次都市施設	水防センター設置	190.0		128.3		事業実施に伴う事業費の変更	影響なし	●	

※1:事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(事業の追加・削除を含む)

提案事業									
事業	細項目	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
地域創造 支援事業	荒町ポンプ場沈砂池整備	-	なし	7.1	沈砂池の壁面整備	平成22年度に計画変更して追加。 施設の長寿命化を図り、中心市街地の排水処理を確かなものとするための事業追加。	影響なし	●	
	まちなかにぎわい創造事業 (三条マルシェ)	-	なし	1.1	三条マルシェ開催経費	平成23年度に計画変更して追加。 内閣府のスマートウエルネスシティ総合特区に認定されたを受け、中心市街地において人が集まり、楽しむ空間を創造するもの。	影響なし	●	
	まちなかにぎわい創造事業 (まちあるき)	-	なし	1.2	マップ作成経費 サポーター養成経費	平成23年度に計画変更して追加。 内閣府のスマートウエルネスシティ総合特区に認定されたを受け、小路を利用したまちあるきをまちづくりにつなげるもの。	影響なし	●	
	いきいきウォーキング促進事業 (空き店舗出店支援)	-	なし	1.2	空き店舗改装工事経費 空き店舗出店支援経費補助	平成23年度に計画変更して追加。 内閣府のスマートウエルネスシティ総合特区に認定されたを受け、地域の賑わい再生の拠点を空き店舗を利用して整備するもの。	影響なし	●	
	須頃地区案内看板整備	-	なし	2.7	N=5箇所	平成24年度に計画変更して追加。 交流拠点への誘導を向上させるため追加するもの。	影響なし	●	
	映写施設設備整備	-	なし	37.7		平成24年度に計画変更して追加。 交流拠点と一体的に防災啓発を中心とした映像設備整備を追加するもの。	影響なし	●	
	小中一体校整備事業	-	なし	1,100.0	小中一体校校舎及び体育館 建設工事 A=10,542㎡	平成24年度に計画変更して追加。 公共・公益サービス機能の維持するために追加するもの。	影響なし	●	
	まちなか交流拠点施設整備事業	-	なし	38.2	旧給食調理場解体整地	平成25年度に計画変更して追加。	影響なし	●	
事業活用調査	事業モニタリング及び事業効果分析 調査委託	5.0		-	なし	平成26年度に計画変更して削除。 直営で事業を実施するため。	-	-	-

※1: 事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

(参考) 関連事業

事業	細項目	事業箇所名	事業費		事業期間		進捗状況及び所見	備考
			当初計画	最終変更 計画	当初計画	最終変更計画		
防災ステーション整備事業		三条市上須頃					平成26年度完成	事業主体: 国土交通省
下水道雨水幹線整備事業	L=1,500m U2,000×3,000~	三条市新光町外	1,500	1,900	平成19年度~平成28年度	平成19年度~平成29年度	平成26年度末で計画 L=1,500mの内、L=1,104m整備 予定	事業主体: 三条市
まちあるき事業		三条市元町外	0.5	0.4	平成22年度~平成26年度	平成22年度~平成26年度	平成26年度末まで毎年前期 後期に分け、各期約20コースの まちあるきを実施した。	事業主体: 燕三条まちあるき 連絡協議会
ものづくり拠点施設整備事業		三条市桜木町	-	405	-	平成26年度	平成26年度完成	事業主体: 三条市

添付様式2-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況

指標	単位	データの計測手法と評価値の求め方 (時期、場所、実施主体、対象、具体手法等)	(参考)※1 計画以前の値 (ア)		従前値 (イ)		目標値 (ウ)		数値(エ)			目標達成度※2		1年以内の 達成見込みの 有無		
			基準 年度	基準 年度	基準 年度	基準 年度	モニタリング	事後評価	モニタリング	事後評価	あり	なし				
指標1	中心市街地の自転車・歩行者数	人	一ノ木戸商店街、中央商店街、五十嵐川堤防の(平日AM10:00～PM10:00)3地点の自転車及び歩行者通行量とする。評価値としては、直近の結果である平成27年2月(平日AM10:00～PM10:00)の結果をもとに推計する。	-	-	2,583	H21	2,600	H26	モニタリング	—	—	モニタリング	—		
										事後評価	確定 ●	3,105	事後評価	○		
指標2	市街地における浸水予想区域面積	ha	10年確率降雨(41mm/h)における浸水被害面積の合計 ※ただし従前値は最大浸水深が膝上程度の浸水、目標値はくぶし程度の範囲を想定している。	-	-	75.3	H21	10.6	H26	モニタリング	—	—	モニタリング	—		●
										事後評価	確定 ●	26.0	事後評価	△		
指標3	当該地域における競馬場跡地広場の利用者数	人	風合戦などのイベント時の広場利用者数	-	-	11,000	H21	16,000	H26	モニタリング	—	—	モニタリング	—		
										事後評価	確定 ●	24,352	事後評価	○		

指標	目標達成度○△×の理由 (達成見込み「あり」とした場合、その理由も含む)	その他特記事項 (指標計測上の問題点、課題等)
指標1	・五十嵐川の復旧で生まれた河川空間整備や歩道、公園、緑地整備などにより、市街地における回遊性が向上し、中心市街地の自転車・歩行者数が増加した。 ・また、計測当日の天候(晴れ)等により歩行者数が増加した。	・従前値の計測手法が、一日のみの計測であり、また天候により交通量が左右する恐れがあるため、数日間の平均値を算出するなど課題がある。よってその他の指標により補完を行う。
指標2	・事後評価時点では事業は終了していないが、シミュレーションで間野川排水区域、輪之内排水区域、直江町地内及び興野一丁目地内は、浸水被害が確実に減少することになっており、目標は達成できたと思われる。 ・一方、須頃郷地内は、事業期間中に全ての施設整備が難しいため、また新通川・島田川沿線は、県管理の新通川河川改修事業との一体整備が必要であり、事業期間中は事業実施が出来ないため、目標値に達しないもの。	・当初、従前値は最大浸水深が膝上程度の浸水、目標値はくぶし程度の範囲を想定していたが、事業の実施にあたっては、シミュレーションを行い、通行車両に支障が出ないように浸水を低減する事を目標に施設を計画したため、数値目標設定時の想定とシミュレーション結果に差が生じた。 ・一方でシミュレーションの結果しかでていないため、今後、実際に大雨が降った時の効果の検証をしていきたい。
指標3	・広場に隣接する水防学習館の開設との相乗効果で、期待以上の利用者があった。	・以前から三条夏祭り「花火大会」の会場として広場が利用されているが、従前値に利用者数を含めていないため、評価値についても計上していない。

※1 計画以前の値とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。
 ※2 目標達成度の記入方法
 ○:評価値が目標値を上回った場合
 △:評価値が目標値には達していないものの、近年の傾向よりは改善していると認められる場合
 ×:評価値が目標値に達しておらず、かつ近年の傾向よりも改善がみられない場合

添付様式2-② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現の計測

指標	データの計測手法と評価値の求め方(時期、場所、実施主体、対象、具体手法等)	単位	(参考)※1 計画以前の値(ア)		従前値(イ)		数値(ウ)			本指標を取り上げる理由	その他特記事項(指標計測上の問題点、課題等)
			基準年度		基準年度		モニタリング	事後評価	数値		
その他の数値指標1	昭栄通り(旧アサノカメラ店脇十字路)の(平日午前11.14.17.20時の各20分)の自転車及び歩行者通行量を調査し、二日間の平均値を求める。 評価値としては、従前値は平成22年、直近の値は、平成26年の同じ時間、同じ地点で実施。	人	-	-	146	H22	モニタリング	確定 ●	117	目標である「中心市街地における回遊性の向上」に対する事業効果を測るため。	指標1を補完する。
その他の数値指標2	中心市街地にあるJR北三条駅の1日平均の乗車人員(降車数は含まず)をJR東日本ホームページ上の各駅乗車人員から調査する。	人/日	-	-	418	H21	モニタリング	確定 ●	432	目標である「中心市街地における回遊性の向上」に対する事業効果を測るため。	指標1を補完する。
その他の数値指標3	三条マルシェの1回当たりの平均来場者数を調査する。	人/回	-	-	8,500	H22	モニタリング	確定 ●	27,417	目標である「中心市街地における回遊性の向上」に対する事業効果を測るため。	指標1を補完する。

※1 計画以前の値とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

添付様式2-参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

- ・市道南四日町西本成寺線歩道整備により、自動車の流れがスムーズになるとともに、歩行者の安全が確保された。
- ・北三条駅周辺の中心市街地においてゾーン30に関連する標識等の設置により、歩行者や自転車の安全が確保された。
- ・まちあるき事業の各種コース設定により、まちが持つ可能性の掘り起こしに繋がり、参加者に対しそれを示すことで当市のPRに大いに寄与しただけでなく、事業運営側も可能性に気付くことで、まちづくりの新たなマンパワーとして活躍するようになった。

(2) 実施過程の評価

・本様式は、都市再生整備計画への記載の有無に関わらず、実施した事実がある場合には必ず記載すること。

添付様式3-① モニタリングの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
なし	<p>予定どおり実施した</p> <p>予定はなかったが実施した</p> <p>予定したが実施できなかった (理由)</p>	-	-

添付様式3-② 住民参加プロセスの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
・五十嵐川法面のシバザクラによる緑化 地元商店街が主体となり、市民参加で作業を行っており、この手法を継続する。	<p>予定どおり実施した</p> <p>予定はなかったが実施した</p> <p>予定したが実施できなかった (理由)</p>	<p>●【実施時期】 平成25年度</p> <p>【実施効果】 地元商店街のほか、学生など約280名の参加があり、河川環境維持向上に向けた啓発につながった。</p>	・シバザクラによる緑化作業を行った地元商店街が主体となり、堤防の草刈りなどの活動も従前から実施されている。
・五十嵐川河川敷の張芝 新たな賑わいの創出を市民等の協働により行う。	<p>予定どおり実施した</p> <p>予定はなかったが実施した</p> <p>予定したが実施できなかった (理由)</p>	<p>●【実施時期】 平成22年度</p> <p>【実施効果】 地域住民など約30名の参加があり、河川環境維持向上に向けた啓発につながった。</p>	・河川工事が完了した箇所について、順次事業を実施していく。
・弥彦線ポケットパーク整備 新潟大学の学生と市民参加で作業を行っており、この手法を継続する。	<p>予定どおり実施した</p> <p>予定はなかったが実施した</p> <p>予定したが実施できなかった (理由)</p>	<p>●【実施時期】 平成19年度～平成26年度</p> <p>【実施効果】 地域住民や学生が主体となり整備を進めたことで、市民の主体的かつ独創的なまちづくり活動の基盤づくりに寄与した。</p>	・予定していた全箇所の整備が完了したため、他の箇所で同様の手法による整備を検討する。
・内水対策事業 「田んぼダム」などにより、市街地上流部での調整池機能を確保するため、農地側との連携を図る。	<p>予定どおり実施した</p> <p>予定はなかったが実施した</p> <p>予定したが実施できなかった (理由)</p>	<p>●【実施時期】 平成19年度～平成26年度</p> <p>【実施効果】 しおから川、新通川上流部沿線地区を中心とする農家からの協力で事業を進め、調整池機能を確保することで強雨時における市街地の浸水被害の軽減に寄与した。</p>	・市主体での事業は完了したが、今後は多面的機能支払交付金を活用し、地元施工での事業の推進を図る。
・まちあるき事業 中心市街地活性化の一手法として三条歴史研究会の協力による「まちあるき」を行うことにより、三条の魅力に触れてもらう。	<p>予定どおり実施した</p> <p>予定はなかったが実施した</p> <p>予定したが実施できなかった (理由)</p>	<p>●【実施時期】 平成22年度～平成26年度</p> <p>【実施効果】 毎年前期後期に分け実施した。各期約20コースのまちあるきに市内外からの多数の参加があり当市の魅力発信に寄与した。</p>	・今後も同事業を継続して行う。
・スマートウェルネス三条推進計画 市民の誰もが生涯にわたり「明るく、楽しく、元気よく」健康で幸せに暮らし続けるための基盤として、自然と「歩く」を基本に「暮らすの場」「にぎわいの場」「生きがい・就労の場」を柱としたまちづくりを進める。	<p>予定どおり実施した</p> <p>予定はなかったが実施した</p> <p>予定したが実施できなかった (理由)</p>	<p>●【実施時期】 平成25年度</p> <p>【実施結果】 歩きたくなる道を考える市民会議を4回実施した。(参加者36人)</p>	・今後もワークショップを開催予定。

添付様式3-③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	構築状況	実施頻度・実施時期・実施結果		今後の対応方針等
		i. 体制構築に向けた取組内容	ii. まちづくり組織名：組織の概要	
<p>・三条まんなかプロジェクト 中心市街地の活性化について、何が必要で何をすべきかを浮き彫りにし、そこに関わる人材を育成することを目的に「三条まんなかプロジェクト」を立上げ、活動を行った。</p>	予定どおり実施した	<p>● 交流拠点「みんくる」を中心に、まちづくりのためのワークショップを重ね、人材の発掘・育成と事業展開を行った。</p>	<p>三条まんなかプロジェクト 委員：20名 年間6回開催</p>	<p>・平成27年度からは主に中心市街地で行われる社会貢献を目的とした多様なコミュニティの形成を支援することにその活動を移行する。</p>
	予定はなかったが実施した			
	予定したが実施できなかった (理由)			

(3) 効果発現要因の整理

添付様式4-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
庁内の横断的組織	総務部 政策推進課、行政課 市民部 環境課 福祉保健部 福祉課 経済部 営業戦略室、地域経営課 教育委員会 教育総務課 建設部 上下水道課、建設課	平成26年7月～9月	政策推進課 建設課(社会資本整備総合交付金主管課)

添付様式4-② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理

指標の種別		指標1	指標3
指標名		中心市街地の自転車・歩行者数	広場等利用者数
種別	事業名・箇所名	指標改善への貢献度	総合所見
基幹事業	道路事業(市道南四日町西本成寺線歩道整備)	◎	五十嵐川の復旧で生まれた河川敷張芝の空間整備や市道南四日町西本成寺線歩道整備をはじめ、公園、緑地整備により、市街地における回遊性が向上し、中心市街地の自転車・歩行者数が増加した。 ゾーン30に関連する標識等の設置を行い、歩行者や自転車にとってより安全な道路環境を整備した結果、中心市街地の自転車・歩行者数の増加につながった。 3小学校の統合と中学校の移転による小中一体校の整備により、児童生徒が中心市街地へ集中的に通学するようになった。 まちあるき事業の各種コース設定により、まちが持つ可能性の掘り起こしに繋がり、参加者に対しそれを示すことで当市のPRに大いに寄与しただけでなく、事業運営側も可能性に気付くことで、まちづくりの新たなマンパワーとして活躍するようになった。
	道路事業(道路案内標識整備(行き先看板))	○	
	道路事業(道路案内標識整備(ゾーン30))	◎	
	公園事業(林町二丁目地内公園整備)	◎	
	公園事業(競馬場跡地公園整備)	—	
	地域生活基盤施設(間野川排水区域排水路整備)	—	
	地域生活基盤施設(輪之内ポンプ場排水区域排水路整備)	—	
	地域生活基盤施設(塚野目地域排水路整備)	—	
	地域生活基盤施設(直江町地内排水路整備)	—	
	地域生活基盤施設(直江町四丁目地内緑地整備)	◎	
	地域生活基盤施設(三竹一丁目地内緑地整備)	◎	
	地域生活基盤施設(曲淵二丁目地内緑地整備)	◎	
	地域生活基盤施設(五十嵐川河川敷駐車場整備)	—	
	地域生活基盤施設(弥彦線ポケットパーク整備)	◎	
	地域生活基盤施設(案内看板設置)	○	
	地域生活基盤施設(まるごとまちごとハザードマップ整備)	—	
	地域生活基盤施設(水位計設置)	—	
	地域生活基盤施設(新通川・島田川沿線排水区域排水路整備)	—	
	地域生活基盤施設(興野一丁目地内排水路整備)	—	
	地域生活基盤施設(島田二丁目内水対策)	—	
	地域生活基盤施設(須頃郷内水対策)	—	
	地域生活基盤施設(一ノ木戸小学校跡地広場整備)	—	
	地域生活基盤施設(条南小学校跡地広場整備)	—	
	地域生活基盤施設(第一中学校跡地広場整備)	—	
	地域生活基盤施設(旧一ノ木戸小学校拡声子局移設)	—	
	地域生活基盤施設(四日町小学校拡声子局移設整備)	—	
地域生活基盤施設(防災カメラの設置(南四日町一))	—		

	地域生活基盤施設(西大崎地内排水施設整備)	—	—	—
	地域生活基盤施設(旧下水道区域排水路整備)	—	—	—
	高次都市施設(五十嵐川法面緑化)	—	—	—
	高質空間形成施設(五十嵐川河川敷張芝)	○	—	—
	高次都市施設(景観照明設置)	—	—	—
	高質空間形成施設(トイレ設置)	◎	—	—
	高次都市施設(水防センター設置)	—	◎	—
提案事業	地域創造支援事業(荒町ポンプ場沈砂池整備)	—	—	—
	地域創造支援事業(まちなかにぎわい創造事業(三条マルシェ))	○	—	—
	地域創造支援事業(まちなかにぎわい創造事業(まちあるき))	○	—	—
	地域創造支援事業(いきいきウォーキング促進事業)	○	—	—
	地域創造支援事業(須頃地区案内看板整備)	○	○	—
	地域創造支援事業(映写施設設備整備)	—	○	—
	地域創造支援事業(小中一体校整備)	○	—	—
	地域創造支援事業(まちなか交流拠点施設整備)	—	—	—
	事業活用調査(事業モニタリング及び事業効果分析調査委託)	—	—	—
関連事業	防災ステーション整備事業	—	○	—
	下水道雨水幹線整備事業	—	—	—
	まちあるき事業	◎	—	—
	ものづくり拠点施設整備事業	—	—	—

※指標改善への貢献度

- ◎：事業が効果を発揮し、指標の改善に直接的に貢献した。
- ：事業が効果を発揮し、指標の改善に間接的に貢献した。
- △：事業が効果を発揮することを期待したが、指標の改善に貢献しなかった。
- ：事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確なので、評価できない。

今後の活用	<p>三条マルシェが集客と空き店舗への新規出店に一定の効果を示す一方で日常的なにぎわいの創出に至っていないため、中心市街地の核となる公共施設の整備が必要である。</p> <p>合わせて市民の誰もが生涯にわたり健康で幸せに暮らし続けるため、出掛けたいような魅力がまちのあちこちに備わっていることと併せ、外出を容易にし、歩きやすい環境を整えることが必要である。</p> <p>小中一体校は、災害時には市の防災拠点として活用を図っていく。</p>	<p>隣接する防災倉庫を含めた防災ステーション整備により、有事の際の拠点施設だけでなく、平時には防災啓発・交流・発信の拠点として、常に有効な利活用を図っていく。</p>
-------	--	--

添付様式4-③ 数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理

指標の種別		指標2					
指標名		市街地における浸水予想区域面積					
種別	事業名・箇所名	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類
基幹事業	道路事業(市道南四日町西本成寺線歩道整備)	△	本指標の数値目標において、浸水面積の従前は最大浸水深が膝上程度の浸水、目標値はくるぶし程度の範囲を想定して設定していた。これに対し、事業の実施にあたっては、公共下水道計画の降雨強度(41mm/h)を用いてシミュレーション(流出解析)を行い、基本的に車両通行に支障が出ないように浸水を低減することを目標に施設を計画した。 この数値目標設定時の想定と解析結果に差異が生じたことと併せて、事業期間中に整備できなかった施設があったために未達成面積が発生した。	I			
	道路事業(道路案内標識整備(行き先看板))	—					
	道路事業(道路案内標識整備(ゾーン30))	—					
	公園事業(林町二丁目地内公園整備)	—					
	公園事業(競馬場跡地公園整備)	—					
	地域生活基盤施設(間野川排水区域排水路整備)	△					
	地域生活基盤施設(輪之内ポンプ場排水区域排水路整備)	△					
	地域生活基盤施設(塚野目地域排水路整備)	△					
	地域生活基盤施設(直江町地内排水路整備)	△					
	地域生活基盤施設(直江町四丁目地内緑地整備)	—					
	地域生活基盤施設(三竹一丁目地内緑地整備)	—					
	地域生活基盤施設(曲淵二丁目地内緑地整備)	—					
	地域生活基盤施設(五十嵐川河川敷駐車場整備)	—					
	地域生活基盤施設(弥彦線ポケットパーク整備)	—					
	地域生活基盤施設(案内看板設置)	—					
	地域生活基盤施設(まるごとまちごとハザードマップ整備)	△					
	地域生活基盤施設(水位計設置)	△					
	地域生活基盤施設(新通川・島田川沿線排水区域排水路整備)	××					
	地域生活基盤施設(興野一丁目地内排水路整備)	△					
	地域生活基盤施設(島田二丁目内水対策)	△					
	地域生活基盤施設(須頃郷内水対策)	△					
	地域生活基盤施設(一ノ木戸小学校跡地広場整備)	△					
	地域生活基盤施設(条南小学校跡地広場整備)	△					
	地域生活基盤施設(第一中学校跡地広場整備)	△					
	地域生活基盤施設(旧一ノ木戸小学校拡声子局移設)	△					
	地域生活基盤施設(四日町小学校拡声子局移設整備)	△					
	地域生活基盤施設(防災カメラの設置(南四日町一))	△					
	地域生活基盤施設(西大崎地内排水施設整備)	△					
	地域生活基盤施設(旧下水道区域排水路整備)	△					
	高次都市施設(五十嵐川法面緑化)	—					
高質空間形成施設(五十嵐川河川敷張芝)	—						
高次都市施設(景観照明設置)	—						
高質空間形成施設(トイレ設置)	—						
高次都市施設(水防センター設置)	—						
提案事業	地域創造支援事業(荒町ポンプ場沈砂池整備)	△					
	地域創造支援事業(まちなかにぎわい創造事業(三条マルシェ))	—					
	地域創造支援事業(まちなかにぎわい創造事業(まちあるき))	—					
	地域創造支援事業(いきいきウォーキング促進事業)	—					
	地域創造支援事業(須頃地区案内看板整備)	—					

関連事業	地域創造支援事業(映写施設設備整備)	—				
	地域創造支援事業(小中一体校整備)	—				
	地域創造支援事業(まちなか交流拠点施設整備)	—				
	事業活用調査(事業モニタリング及び事業効果分析調査委託)	—				
	防災ステーション整備事業	—				
	下水道雨水幹線整備事業	△				
	まちあるき事業	—				
	ものづくり拠点施設整備事業	—				

※目標未達成への影響度

- ××: 事業が効果を発揮せず、
指標の目標未達成の直接的な原因となった。
- ×: 事業が効果を発揮せず、
指標の目標未達成の間接的な原因となった。
- △: 数値目標が達成できなかった中でも、
ある程度の効果をあげたと思われる。
- : 事業と指標の間には、もともと関係がないことが
明確なので、評価できない。

※要因の分類

- 分類Ⅰ: 内的な要因で、予見が可能な要因。
- 分類Ⅱ: 外的な要因で、予見が可能な要因。
- 分類Ⅲ: 外的な要因で、予見が不可能な要因。
- 分類Ⅳ: 内的な要因で、予見が不可能な要因。

改善の方針 (記入は必須)	施設が完成した排水区域内では、計画降雨に対してほぼ生活に支障がないレベルまで浸水が低減できると見込まれる。引き続き、事業期間中に完成できなかった施設の整備を着実に実施し、対象排水区域の全域において浸水被害の低減を図る。	
------------------	---	--

(4) 今後のまちづくり方策の作成

添付様式5-① 今後のまちづくり方策にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
庁内の横断的組織	総務部 政策推進課、行政課 市民部 環境課 福祉保健部 福祉課 経済部 営業戦略室、地域経営課 教育委員会 教育総務課 建設部 上下水道課、建設課	平成26年7月～9月	政策推進課 建設課(社会資本整備総合交付金主管課)

添付様式5-② まちの課題の変化

事業前の課題 都市再生整備計画に記載 したまちの課題	達成されたこと(課題の改善状況)	残された未解決の課題	事業によって発生した 新たな課題
中心市街地における個性と賑わいのある生活空間創造	<ul style="list-style-type: none"> ・三条マルシェが集客と空き店舗への新規出店に一定の効果を示す。 ・それらにより新たなコミュニティが形成された。 	<ul style="list-style-type: none"> ・更なるまちの賑わい、核となる公共施設の整備が必要である。 ・市中心部は高齢化が顕著で、居住人口が減少し、既存の地縁コミュニティだけでは生活が維持できなくなりつつある。 	なし
緊急的な浸水被害の軽減	<ul style="list-style-type: none"> ・間野川排水区域、輪之内排水区域、直江町、興野一丁目地内における浸水被害の軽減 ・水位計の設置、ハザードマップの作成、及び防災カメラの設置等により、地域防災に対する意識や市街地における安全性が向上した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業期間中に整備が出来なかった施設の早期完成を図り、引き続き豪雨による浸水被害の軽減を図る。 	
競馬場跡地における交流拠点としての積極的な利用と強化	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の完成により利用者が増えた。 ・凧合戦などによるイベント開催においても従前に比べ利用者が増えたことで交流人口が増加し、地域の活性化が図られた。 	なし	

これを受けて、成果の持続にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5-③A欄に記入します。

これを受けて、改善策にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5-③B欄に記入します。

添付様式5-③ 今後のまちづくり方策

	効果の持続を図る事項	効果を持続させるための基本的な考え方	想定される事業
A欄 効果を持続させるため に行う方策	・事業実施により形成されたコミュニティの維持と更なる形成	・中心市街地で行われる社会貢献を目的とした多様なコミュニティの形成を支援するプラットフォームを構築する。	・スマートウエルネス三条(全天候型広場整備) ・みんくる運営 ・三条マルシェ開催 ほか
	・総合防災訓練の実施による防災対策の推進	・三条防災ステーションを活用して水防訓練をはじめとした各種訓練の場として活用し、あわせて防災意識の啓発を図る。	・三条防災ステーションを活用した各種訓練の実施
	(c)更なる交流拠点としての魅力を高めるため様々なプログラムやイベントを活用し利用強化を図る。	三条マルシェや凧合戦などのイベントを継続するとともに、施設と各イベントの連携を強化し、また、その他の通常行事にもイベント的要素を加えて実施する。	・イベント実施の継続 ・整備箇所を活用した新規イベントの実施

	改善する事項	改善策の基本的な考え方	想定される事業
B欄 改善策 ・未達成の目標を達成するための改善策 ・未解決の課題を解消するための改善策 ・新たに発生した課題に対する改善策	・長寿社会にあった環境整備	・日常的に出掛けたいような社交の場を創出する。 ・景観資源を活用した歩きたくなる空間づくりと合わせ、道路を歩行者優先の価値観へと変容させる取組を進める。	・集いの場の創出(全天候型広場整備) ・歩きたくなるような環境整備
	・出生率を向上させる子育て支援等の実施	・人口密度を維持していくために若年世代の住みやすい環境の創出を図るため、老朽化した保育所施設の統合及び新設等を行い、多様な保育ニーズへの対応を強化する。 ・市外からの転入などの受け皿として、歴史的建造物を活用する。	・老朽化した保育所施設の統合及び新設 ・歴史的建造物活用事業
	・災害に強い安全・安心な生活環境の整備	・五十嵐川南側地区、須頃郷地区などで、内水対策として排水路整備を図り、豪雨による浸水被害の軽減を図る。	・新通川・島田川沿線における内水対策 ・須頃郷地区における内水対策など

フォローアップ又は次期計画等
において実施する改善策
を記入します。

本的に記入して下さい。

■様式5-③の記入にあたっては、下記の事項を再確認して、これらの検討結果を踏まえて記載して下さい。(チェック欄)

● 交付金を活用するきっかけとなったまちづくりの課題(都市再生整備計画)を再確認した。
● 事業の実施過程の評価(添付様式3)を再確認した。
● 数値目標を達成した指標にかかる効果の持続・活用(添付様式4-②)を再確認した。
● 数値目標を達成できなかった指標にかかる改善の方針(添付様式4-③)を再確認した。
● 残された課題や新たな課題(添付様式5-②)を再確認した。

添付様式5-参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見

なし

添付様式5-④ 目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画

・フォローアップの要否に関わらず、添付様式2-①、2-②に記載した全ての指標について記入して下さい。
 ・従前値、目標値、評価値、達成度、1年以内の達成見込みは添付様式2-①、2-②から転記して下さい。

・評価値が「見込み」の全ての指標、目標達成度が△又は×

指標		単位	従前値		目標値		評価値		目標達成度	1年以内の達成見込みの有無	フォローアップ計画			
			年度	年度	年度	年度					予定時期	計測方法	その他特記事項	
指標1	中心市街地の自転車・歩行者数	人	2,583	H21	2,600	H26	確定 ●	3,105	○	あり	→	-	-	-
							見込み							
指標2	市街地における浸水予想区域面積	ha	75.3	H21	10.6	H26	確定 ●	26.0	△	あり ●	→	平成28年4月	シミュレーションにおける事業完了箇所の浸水面積を計測する。	-
							見込み ●			なし ●				
指標3	当該地域における競馬場跡地広場の利用者数	人	11,000	H21	16,000	H26	確定 ●	24,352	○	あり	→	-	-	-
							見込み			なし				
その他の数値指標1	昭栄通り歩行者・自転車数	人	146	H22	/		確定 ●	117	/		→	-	-	-
その他の数値指標2	JR北三条駅の平均乗車数	人/日	418	H21	/		確定 ●	432	/		→	-	-	-
							見込み							
その他の数値指標3	三条マルシェの平均来場者数	人/回	8,500	H22	/		確定 ●	27,417	/		→	-	-	-
							見込み							

添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方

・下表の点について、特筆すべき事項を記入します。

項目		要因分析	次期計画や他地区への活かし方
数値目標 ・成果の達成	うまくいった点		
	うまく いかなかった点		
数値目標と 目標・事業との 整合性等	うまくいった点		・客観性を担保できるよう、一定程度以上のデータを測定する。
	うまく いかなかった点	・中心市街地における自転車・歩行者数は、計測の時期や場所、天候などに大きく左右されるため、客観的に評価できるようにさらにデータを集める必要がある。	
住民参加 ・情報公開	うまくいった点	・ポケットパーク整備事業では随時ホームページで情報を公開し、多くの地域住民から参加いただいた。	・事業効果のPRや住民参加の積極的な呼びかけをおこない、市民と一体となってまちづくりを行う。
	うまく いかなかった点		
PDCAによる事業 ・評価の進め方	うまくいった点		
	うまく いかなかった点		
その他	うまくいった点		
	うまく いかなかった点		

添付様式6ー参考記述 今後、都市再生整備計画事業の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称(当該地区の次期計画も含む)

- ・今後の都市再生整備計画事業の活用予定
三条市中心市街地地区、須頃地区、大崎地区
- ・今後、事後評価を予定する地区
緑の里・保内地区

(5) 事後評価原案の公表

添付様式7 事後評価原案の公表

公表方法	具体的方法	公表期間・公表日	意見受付期間	意見の受付方法	担当部署
インターネット	市のホームページを通してインターネット上で評価結果を公表し、意見収集を行う。	平成27年3月2日～3月16日	平成27年3月2日～3月16日	担当課への郵送、FAX、Eメール、持参	建設課 営業戦略室
広報掲載・回覧・個別配布	三条、栄、下田庁舎及び各地区公民館に印刷物を置き、意見収集を行う。	平成27年3月1日発行 広報さんじょう3月1日号	平成27年3月2日～3月16日		
説明会・ワークショップ	-	-	-		
その他	-	-	-		

住民の意見	・特になし				
-------	-------	--	--	--	--

(6) 評価委員会の審議

添付様式8 評価委員会の審議

委員構成		実施時期	担当部署	委員会の設置根拠	委員会の母体組織
学識経験のある委員	近藤 雄介 (三条商工会議所 都市開発委員長)	平成27年3月20日(金)	建設課(社会資本整備 総合交付金主管課)	三条市都市再生整備計画に係る実施事業事後評価等委員会要綱	独自に設置
その他の委員	三条観光協会 副会長 新潟県三条地域振興局 計画調整課長 三条市自治会長協議会 役員				

審議事項※1		委員会の意見
事後評価手続き等にかかる審議	方法書	-
	成果の評価	<ul style="list-style-type: none"> ・まるごとまちごとハザードマップが分かり易く、自治会として避難計画を立てやすく助かっている。 ・平成27年度への繰越事業が多いので、事業実施後のフォローアップなど検証することを望む。 ・水防学習館は水害を忘れないために評価できる。
	実施過程の評価	・特になし。
	効果発現要因の整理	・特になし。
	事後評価原案の公表の妥当性	<ul style="list-style-type: none"> ・インターネットによる意見が、「ない」というのは寂しい結果である。直接アンケートを取った方が良かった。 ・今後フォローアップを行っていくなかで、今回の都市再生整備計画事業に限らず市政アンケートなど利用できるものは利用することが望ましい。
	その他	・特になし。
	事後評価の手続きは妥当に進められたか、委員会の確認	・事後評価の手続きは妥当である。
今後のまちづくりについて審議	今後のまちづくり方策の作成	<ul style="list-style-type: none"> ・浸水対策は市街地だけでなく農村部においても検討してもらいたい。 ・難しい課題である少子高齢化問題に取り組むことは、すばらしく評価できる。
	フォローアップ	・特になし。
	その他	・東三条駅周辺が寂れてきているので今後、状況調査を実施し、その結果を踏まえながら検討をお願いしたい。
	今後のまちづくり方策は妥当か、委員会の確認	・今後のまちづくり方策は妥当である。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・避難場所に指定された所が真っ先に被害にあう所がある。また避難場所の掲示板の位置が悪く、分かりづらいところがあるので、今後、掲示板について利用者を配慮した設置を行ってもらいたい。 ・新潟県は大型バスが立ち寄れるトイレが少ないと観光バス会社から聞いている。また女性からは子供の遊び場がなく住みにくいという声が聞こえてくる。芝生だけでも子どもは、遊べる。子供の遊び場や親子で戯れる場があることで女性が住みやすい地域になるのではないか。今後、学校敷地など子供の遊び場については、地域の意見を聞き、親子で遊べる公園を整備、改修を進めてもらいたい。 	